

掛川市教育委員会定例会議事録

会議名	平成28年8月掛川市教育委員会定例会		
場所	掛川市役所南館 教育委員会室		
開催日時	平成28年8月30日（火） 午後1時30分から午後2時45分まで		
出席者	教育長 教育長職務代理者 委員 委員 委員	山田文子 小野恵美子 永田孝明 松浦昌巳 岩尾千佳子	教育部長 こども希望部長 学務課長 学校教育課長 社会教育課長 図書館長 教育政策室長 教育政策室教育政策係長 教育政策室指導主事 教育政策室主査 笹本 厚 高川佳都夫 中山弘一 佐藤嘉晃 栗田一吉 奥野寿夫 赤堀賢司 鈴木純一 柴田勝明 呉羽原和

1 協議事項

掛川市教育委員会の事務に関する自己点検・評価報告書について (資料 1)

2 報告事項

- (1) 掛川市公立学校評議員の報告について (資料 1)
- (2) 掛川市内小中学校のあらわれについて (資料 2)
- (3) 発達通級指導教室開設（掛川地区）について (資料 3)
- (4) 特別支援学級開設（再設）要望について (資料 4)
- (5) 平成28年度「英語体験活動」実施報告について (資料 5)
- (6) 平成28年度中体連県大会等結果について (資料 6)
- (7) 平成28年度台湾アーチェリー選手団掛川つま恋キャンプの実施について (資料 7)
- (8) 平成28年度全市一斉青少年育成環境美化活動報告について (資料 8)
- (9) 「十六夜の図書館」について (資料 9)
- (10) 私立幼稚園就園奨励費補助金の低所得者対策について (資料 10)

1 開 会

教育長：教育委員会8月定例会を開会する。

2 教育委員会7月定例会議事録の承認について

意見はなく、承認された。

3 事務報告及び行事予定報告

教育部長から事務報告及び行事予定報告について、主な事項の説明があった。

4 協議事項

掛川市教育委員会の事務に関する自己点検・評価報告書について
教育政策室指導主事から協議資料1のとおり説明があった。

委員：評価委員会における静岡大学教職大学院生の傍聴は、掛川市独自の事か。

教育政策室指導主事：独自であり、今年度の第2回評価委員会からの傍聴となっている。

その他意見はなく、承認された。

5 報告事項

(1) 掛川市公立学校評議員の報告について

学校教育課長から報告資料1のとおり報告があった。

(2) 掛川市内小中学校のあらわれについて

学校教育課長から報告資料2及び次のとおり報告があった。

7月の交通事故は、大きなものはなかった。非行等問題行動について、小学校では、イライラして感情を抑えられずに人や物に当たってしまうものがほとんどである。中学校では、授業放棄で授業を抜け出してしまう等があり、これも感情を抑えられずに起きている。生徒間暴力は、今回減少しており、3箇月が経ちお互いの理解が深まったことがあるものと考えられ、これは、8月1日の生徒指導研修会で報告された。感情的に人や物に手を出すというのは、当市に限らず多い傾向にあり、特に特別な支援を要する子においてそのような行動が多く、マネジメントの研修も行っているため、その効果が表れてくるとよい。中学校ではネットトラブルがあり、警察にも入っていただき解決したが、ますます注意が必要である。不登校児童生徒については、固定化してきたところがあり、大東に不登校を改善させるためのみどり教室を開設しているが、北部からの子がほとんどである。通うのが大変であることから、9月よりつくし会館に開設するので、ここで改善が図られればと期待しており、各校にもここへ通えるように指導を進めていく。いじめ問題では、小学校で道具箱の中にごみを入れられた件があった。

委員：小学生の非行行動が増えているのが気になる。学級崩壊に繋がったり、これを見て学校へ行けなくなることもあるのではないか。

学校教育課長：粗暴行為について、特に特別な支援を要する子においては非常に難しく、中学校になるとほとんどが固定化である。心理学的な面から支援に入る等、昔とは状況が変わってきており、校長会でも研修を進めている。

委員：授業を抜け出すというのは、中学生か。学校内にはいるのか。

学校教育課長：小学生にもあるが、中学生が多い。学校内にはいるが、小学生だと担任はすぐに動けないので、サポーターが連れ戻すことになる。高学年になると感情的なことで衝動的な行動に出てしまうことがあり、中学生になると様々なパターンがある。

委員：私たちが学校視察に行った際でも、今日は人が来ているからしっかりしようという感じがない子もいる。それが現状であり、数字上の件数を見ることと、現場を見ることは、必要であると思う。

学校教育課長：当市だけが増えているのであれば問題であるが、全国的なものである。いろいろな面で研修会や対応を考えているものの、昔は家庭の教育で支援しながら収まっていたこともあるが、現在ではそうではなく、特に病的なことが絡んでくると簡単にはいかないのが現状である。

(3) 発達通級指導教室開設（掛川地区）について
学校教育課長から報告資料3のとおり報告があった。

(4) 特別支援学級開設（再設）要望について
学校教育課長から報告資料4のとおり報告があった。

委員：開設されていない学校の子は、別の学校を選ぶことになるのか。

学校教育課長：近くに開設されている学級へ行くようになり、これは県からも指導が入る。中学校であれば東中か西中になるが、北中の子であれば東中へ通うことになる。

委員：途中から特別支援学校に入ることはできるのか。

学校教育課長：特別支援学校に編入するケースは、ほとんどない。小学校から中学校へ上がる段階や、中学校を卒業した段階で、どういった審査結果が出るかによる。

(5) 平成28年度「英語体験活動」実施報告について
学校教育課長から報告資料5のとおり報告があった。

委員：圧倒的に女子の参加者が多いようである。

委員：4年後に東京オリンピックが開催され、外国人も多く来られると思うが、交流として、どこかのチームとのコラボレーション等はあるのか。

学校教育課長：小学生は難しいかもしれないが、中学生は、おもてなしのような方法が想定され、市長部局でも考えているようである。

社会教育課長：ラグビーW杯では、つま恋でキャンプ誘致をしようとしているが、今後、交流という中でやってもらおうという思いはある。東京オリンピックやその絡みの事前合宿等においては、2002年サッカーW杯の際、各学校で応援する国を割り振る等のこともあったので、参考にしながら検討していこうと考えている。

(6) 平成28年度中体連県大会等結果について
学校教育課長から報告資料6のとおり報告があった。

(7) 平成28年度台湾アーチェリー選手団掛川つま恋キャンプの実施について
社会教育課長から報告資料7のとおり報告があった。

(8) 平成28年度全市一斉青少年育成環境美化活動報告について
社会教育課長から報告資料8及び次のとおり報告があった。

参加者は、中学生が増えているが、小学生が若干減っており、理由としてスポーツ少年団で県大会等が設定されていたこと等がある。大人の参加者が少ないが、地域ぐるみで子どもたちと一緒に奉仕作業をする機会はなかなかないので、一定の評価をいただいている。地域一帯での健全育成が図られ、定着していることはよかった点であるが、一方で、ある地区では、子どもがいないためやる意味がないという話もあった。非常に暑いため、時期を考えてほしいという声もあるが、毎年この時期に実施しており、なかなか変えづらい面もあり、区長会連合会との共催でやっているなので、今後そちらの意見も聞いて検討したい。

(9) 「十六夜の図書館」について
図書館長から報告資料9のとおり報告があった。

(10) 私立幼稚園就園奨励費補助金の低所得者対策について
こども希望部長から報告資料10のとおり報告があった。

6 その他

(1) 平成28年度掛川市行財政改革審議会の協議状況について
教育政策室指導主事からその他資料1のとおり説明があった。

(2) 次回以降教育委員会定例会の日程等について
ア 次回以降教育委員会定例会の日程について

(ア) 教育委員会9月定例会
平成28年9月29日（木）午後3時
掛川市役所南館 教育委員会室

(イ) 教育委員会10月定例会
平成28年10月25日（火）午後1時30分
掛川市役所南館 教育委員会室
※ 引き続き、午後3時から総合教育会議を開催

イ その他の予定について
視察期日は、11月16日（水）～17日（木）で検討する。

7 開 会

教育長：教育委員会8月定例会を閉会する。